

↓	
中	工
七	合
四	七
合	七
七	五
工	四
上	

中	工
合	工
合	五
工	
四	合
上	合
上	

中	上
合	工
合	乙
四	中
上	老
四	工
上	

四	サ
合	一
上	キ
合	ミ
中	ハ
中	ノ
上	ナ
老	カ
四	ノ
工	イ
四	バ

上	ラ
中	ノ
工	ハ
合	ナ
五	カ
工	サ
合	一
五	ユ
合	イ

五	ユ
合	イ
工	ク
合	レ
五	テ
七	カ
五	エ
工	レ
中	バ
上	ヤ
合	レ

中	ホ
五	ニ
工	ヒ
合	キ
中	ト
上	メ
四	ル
四	マ
合	タ
上	ハ
合	一

中	リ
上	ヌ
合	チ
工	ン
合	ダ
乙	ラ
四	カ
中	ヌ
上	シャ
老	マ
四	ヨ

一、サー君は野中のいばらの花か
サーユイユイ

暮れて帰ればやれほにひきとめる
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ
サーユイユイ

二人で気がねにやれほに水入らず
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

五、サー沖縄よいとこ一度はめんそうれ
サーユイユイ

春夏秋冬緑の島よ
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて
サーユイユイ

主は白百合やれほにままならぬ
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ

四、サー染めて上げましょ紺地の小袖
サーユイユイ

掛けておくれよ情けのたすき
マタハ一リヌチンラダカヌシヤマヨ